

1. 試験の制度

区分	位置付け	試験制度
技能検定	国家資格	<p>働く上で身につける、または必要とされる技能を一定の基準によって評価する国家検定制度で職業能力開発促進法に基づいて実施されている。</p> <p>試験に合格すると「技能士」の称号が与えられる。 特級、1級、単一等級 → 厚生労働大臣名の合格証書 2級、3級、基礎級 → 都道府県知事名の合格証書</p>
技能審査	公的資格	<p>技能審査認定規程により厚生労働大臣から認定を受けて実施する制度。これは、厚生労働大臣が、働く人々の技能の向上と経済的社会的地位の向上とに資することを目的として、技能振興上推奨すべきものが認定される。</p> <p>試験に合格すると「技士」の称号が与えられる。 全等級 → 中央協会会長名及び都道府県協会会長名の合格証書</p>

技能検定と技能審査との相違点について

2. 受験資格に係る必要実務経験年数

区分	等級	実務経験年数	備考
技能検定	1級	7年	※検定職種に関し実務の経験を有する者に限ります。 ただし、該当職種に関する学科に在学する方及び該当職種に関する訓練科において職業訓練を受けている方も受験できます。 その他詳しい受験資格については、厚生労働省のHPもしくは最寄りの都道府県職業能力開発協会へお問い合わせください。
	2級	2年	
	3級	0年(※)	
技能審査	上級	1年	※該当職種に従事又はその予定のある方が対象。
	中級	0.5年	
	初級	0年(※)	

3. 受験手数料

区分	等級	実技	学科	合計	備考
技能検定	全等級 共通	17,900円	3,100円	21,000円	※都道府県によって異なる場合があります。また、学生は減額される場合があります。 詳しくは都道府県または都道府県職業能力開発協会へお問い合わせください。
技能審査	上級	13,370円	2,060円	15,430円	
	中級	11,310円		13,370円	
	初級	8,230円		10,290円	

技能検定と技能審査との相違点について

4. 試験の概要

区分		試験の内容	試験時間
技能検定	テクニカルイラストレーション (テクニカルイラストレーションCAD作業)	第三角法で描かれた課題図から、等角投影図(等測投影図)で立体(外観)図をCAD(グラフィックソフトを含む。)により作成する。	2時間(3級)
	機械・プラント製図 (機械製図CAD作業)	機械装置を組み立てた状態の図面から、指定された部品図をCADにより作成する。(2級、3級)	3時間(3級)
CADトレース技能審査		CADを使用して、与えられた図面のトレースを行う。 中級以上においては、等級に応じた考察要素の描画を行う。	60分(初級) 90分(中級) 120分(上級)

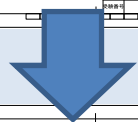
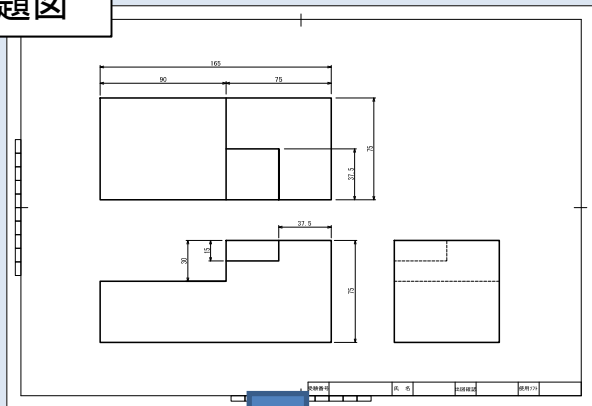
5. 評価の内容

技能検定		■ CADトレース技能審査
テクニカルイラストレーション (テクニカルイラストレーションCAD作業)	機械・プラント製図 (機械製図CAD作業)	
<ul style="list-style-type: none"> ■ CADを用いての図面作図能力 ■ 製図における作図・規格の知識 ■ 図面の2次元的・3次元的な理解 ■ 立体外観図(姿図)の作図能力 	<ul style="list-style-type: none"> ■ CADを用いての機械図面作図能力 ■ 機械製図における作図・規格の知識 ■ 機械図面の2次元的・3次元的な理解 ■ 組立図からの部品図作成能力 	<ul style="list-style-type: none"> □ CAD機能の操作スキル □ 製図における作図・規格の知識 □ 描画されている組立図の機構の理解 (中級考察要素) □ 仕様変更に伴う対応力(上級考察要素)

技能検定(テクニカルイラストレーション)及び技能審査(CADトレース)イメージ

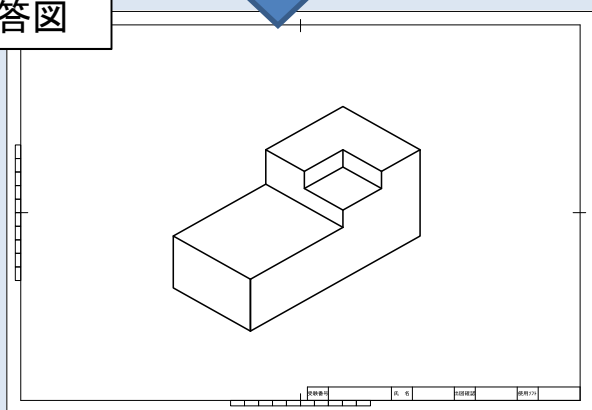
技能検定(テクニカルイラストレーション)

課題図



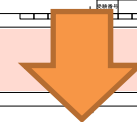
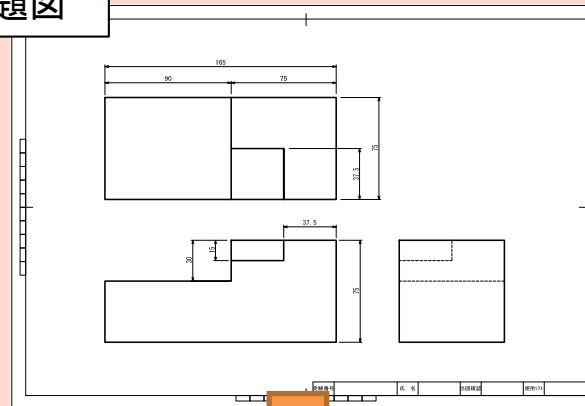
120分で作図

解答図



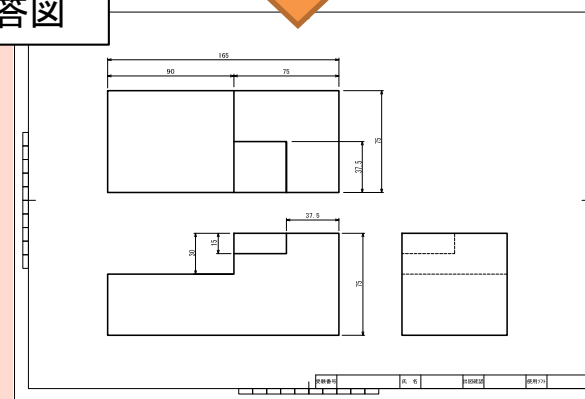
CADトレース技能審査

課題図



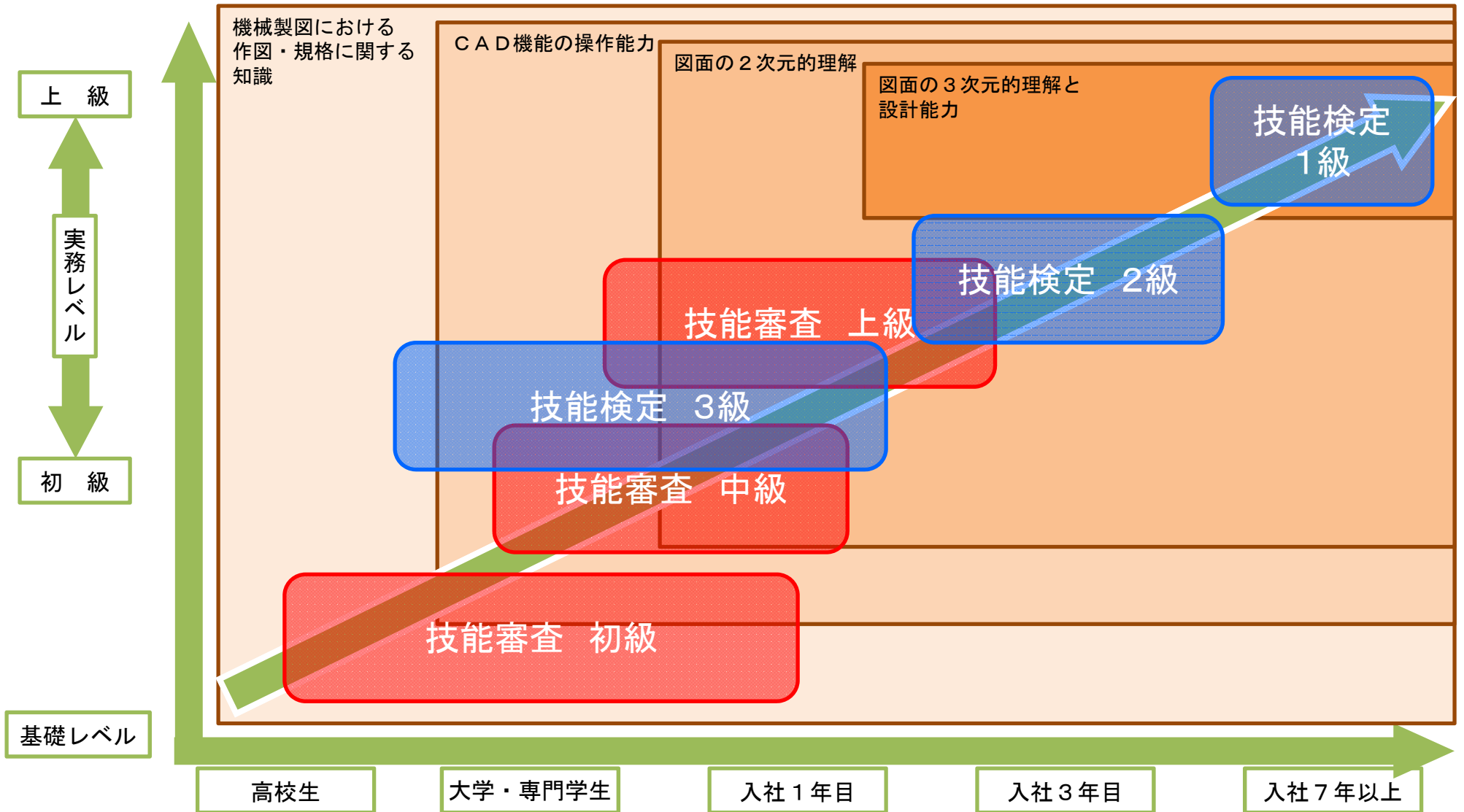
60分で作図

解答図



※あくまでもイメージのため、実際の試験内容、難易度とは異なります。

技能検定と技能審査の区分イメージ



技能検定(テクニカルイラストレーション)と技能審査(CADトレース)の兼ね合い

技能検定(テクニカルイラストレーション)は、第三角法で描かれた図面から等角投影図で立体図を作図させる課題としているのに対し、技能審査(CADトレース)は、第三角法で描かれた部品図をトレースさせる課題となっており、成果物が異なります。

技能検定は、特に「第三角法の読図と等角投影図の作図能力」にウェイトを置いています。つまりは、与えられた条件を基に自ら構造を分析し、構想を練りながら作図する能力が重要になります。

これに対して技能審査は、「CADによる作図・機能操作能力」の評価にウェイトを置きました。CADによる作図スピードが求められるため、技能検定を合格できるだけの知識がある場合でもCADの機能を使いこなせなければ技能審査に合格できるとは限りません。

逆に、読図能力、等角投影図作図能力が不足していれば、CADによる高度な作図能力があっても技能検定には合格できません。

しかし、両者とも「図面の読み取り」と「CADによる作図」といった点では共通点があります。

従って、従来のCADトレース技能審査の受験に向けての学習に、新たに「等角投影図作図のための知識」を盛り込み、「図面の読図能力」に勉めることで、学習者の能力は技能検定でも通用するようになると考えられます。

技能検定(機械・プラント製図)と技能審査(CADトレース)は、最終的には機械装置の部品図を作図させるという点で共通です。しかし、作図の過程で評価する項目が一部異なります。

両者とも「機械製図の理解及びCADの作図能力」を評価しておりますが、技能検定は「機械製図の理解」にウェイトを置いています。つまりは、与えられた条件を基に自ら構造を分析し、構想を練りながら作図する能力が重要になります。

これに対して技能審査は、「CADによる作図・機能操作能力」の評価にウェイトを置いていました。

技能審査では特にCADによる作図スピードが求められるため、技能検定を合格できるだけの知識がある場合でも技能審査に合格できるとは限りません。

逆に、機械製図に対する知識が不足していれば、CADによる高度な作図能力があっても技能検定には合格できません。

従って、従来のCADトレース技能審査の受験に向けての学習に「機械製図の理解」を盛り込むことで、学習者の能力は技能検定でも通用するようになると考えられます。